

## 責任裁定申請書

公害等調整委員会 御中

〒\*\*\*-\*\*\*\*

〇〇県〇〇市〇〇番地

(電話\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*)

(FAX\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*)

申請人 甲野 太郎

申請人は、公害紛争処理法第 42 条の 12 第 1 項に基づき、下記のとおり、責任裁定の申請をします。

### 記

#### 1 当事者

〇〇県〇〇市〇〇番地

申請人 甲野 太郎

〇〇県〇〇市〇〇番地

被申請人 乙山産業株式会社

上記代表者代表取締役 戊沢 四郎

#### 2 公害に係る事業活動の行われた場所及び被害の生じた場所

##### (1) 事業活動の行われた場所

〇〇県〇〇市〇〇番地に所在する被申請人〇〇工場

##### (2) 被害の生じた場所

〇〇県〇〇市〇〇番地に所在する申請人宅

#### 3 裁定を求める事項

被申請人は、申請人に対し、320 万円を支払え、との裁定を求める。

#### 4 理由（被害の態様及び規模並びに紛争の実情等）

##### (1) 当事者

###### ア 申請人

申請人は、平成〇年〇月から現住所地に居住している。

###### イ 被申請人

被申請人は、〇〇を営む株式会社で、平成〇年〇月〇日、申請人宅の西側に〇〇を製造する工場を建設し、以来現在に至るまで操業している（甲 1）。

(2) 加害行為の態様

ア 被申請人は、本件工場操業開始以来、工場内で〇〇用の機械を稼働させて振動を発生させている。

工場の操業時間は、おおむね平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時までであり、上記機械の稼働時間は、このうち約 5 時間である。

イ 申請人は、市役所に相談して、平成〇年〇月〇日、本件工場敷地境界で振動測定をしてもらった。

その結果、〇〇用の機械が稼働している時間帯は、市の規制基準を超える〇〇デシベルを記録した（甲 2）。

ウ 申請人は、平成〇年〇月〇日、被申請人に対し、振動の苦情を申し立てたが、被申請人は何の対策も講じない。

(3) 被害の内容及び程度

ア 本件機械の稼働に伴う振動により、申請人宅の基礎部分や壁に亀裂が入った（甲 3、4）。

イ また、申請人は、毎日長時間にわたり本件機械の激しい振動にさらされ、〇〇症に罹患して現在も通院している（甲 5）。

さらに、昼間に絶えず振動を受けているために、本件工場終業後も振動感が残り、夜は眠れない状態が続いている。

(4) 損害額 合計 320 万円

ア 建物補修費用 280 万円（甲 6）

- ・ 基礎補修工事 200 万円
- ・ 外壁補修工事 80 万円

イ 治療費・薬代・通院交通費 10 万円

- ・ 治療費 8 万円（甲 7 の 1～20）

申請人は、平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日までの間、〇〇病院に 20 回にわたり通院している。

- ・ 薬代 1 万円（甲 8 の 1～15）

申請人は、〇〇症の治療のため処方を受け、△△薬局において薬を購入した。

- ・ 通院交通費 1 万円

申請人宅から〇〇病院までは、電車で片道 250 円である（250 円×2×20 日＝1 万円）。

ウ 慰謝料 30 万円

申請人の受けた精神的苦痛を慰謝するには 30 万円が相当である。

**【添付資料】**

1. 全部事項証明書（被申請人）
2. 全部事項証明書（被申請人工場）
3. 全部事項証明書（申請人宅）
4. 証拠説明書 ※別紙様式参照

**【証拠】**

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 甲 1          | 住宅地図      |
| 甲 2          | 振動測定報告書   |
| 甲 3          | 申請人宅建築図面  |
| 甲 4          | 写真撮影報告書   |
| 甲 5          | 診断書       |
| 甲 6          | 補修費用見積書   |
| 甲 7 の 1 ～ 20 | 領収書（〇〇病院） |
| 甲 8 の 1 ～ 15 | 領収書（△△薬局） |